

文化芸術活動基盤強化基金（クリエイター支援基金）

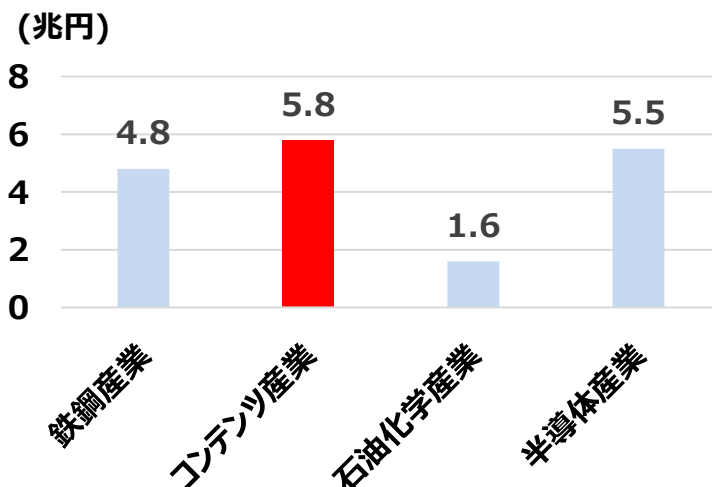
概要説明

令和8年6月5日
独立行政法人日本芸術文化振興会

コンテンツ産業（マンガ、アニメ、ゲーム、映画、音楽等）の現状

- 日本発コンテンツの海外売上は5.8兆円と自動車の輸出額に次ぐ規模であり「基幹産業」（国内市場規模も13兆円）
- 政府は、「海外売り上げを2033年までに20兆円」（令和6年6月 知的財産戦略本部（本部長：内閣総理大臣）決定）
- 「コンテンツ産業を含めたデジタル関連産業の海外展開を支援」（第219回国会における高市内閣総理大臣所信表明演説（令和7年10月24日閣議決定）抜粋）
- 日本成長戦略会議（令和7年11月4日閣議決定・設置）の17の戦略分野の一つとして「コンテンツ」を指定（担当大臣：内閣府特命担当大臣（クールジャパン戦略））

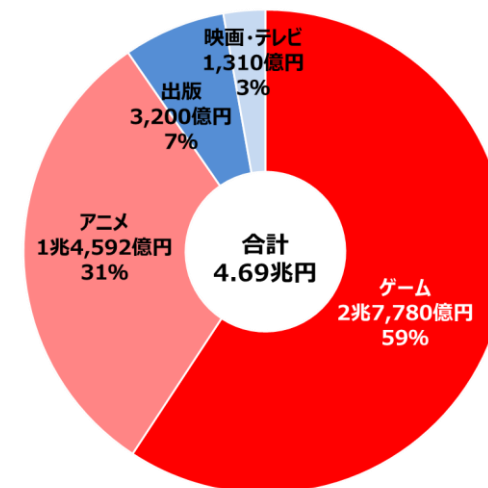
我が国の産業の海外売上比較



(注) 2023年のデータ

(注) 鉄鋼産業・石油化学産業・半導体産業については輸出額

コンテンツ産業の海外売上の構成



(注) 音楽の海外輸出額はデータがないため掲載していない。

（独）日本芸術文化振興会にクリエイター支援基金を創設し、 複数年度にわたり人材育成や海外展開を支援

令和5年度補正予算 60億円

卓越した若手クリエイターの海外展開支援

令和6年度補正予算 95億円

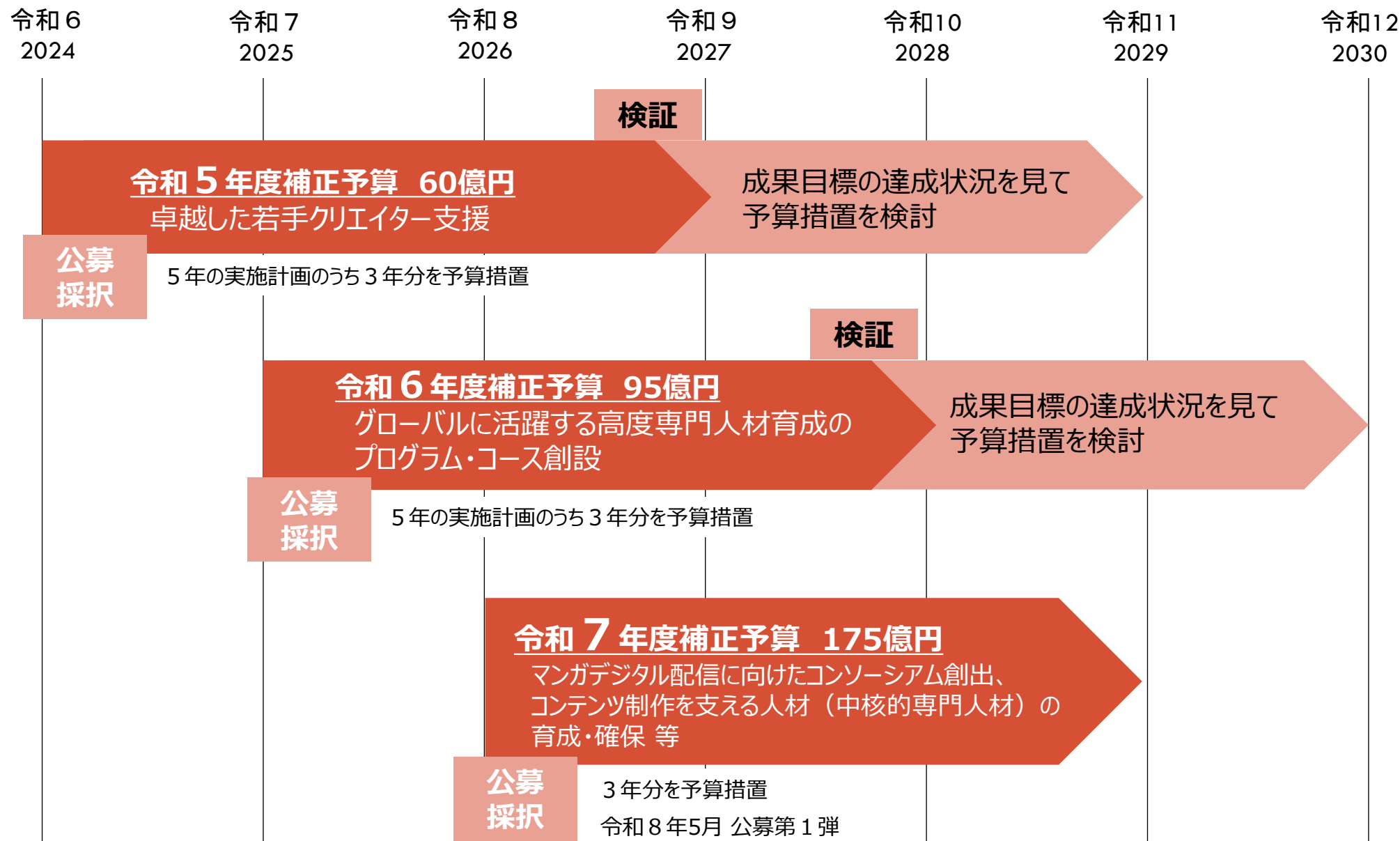
グローバルに活躍する高度専門人材育成の
プログラム・コース創設

令和7年度補正予算 175億円

- ・次世代のマンガデジタル配信プラットフォーム構築
に向けた産学官コンソーシアム構築
- ・コンテンツ制作を支える中核的専門人材育成
- ・対価還元に向けた著作物等データの流通促進
- ・戦略的・総合的な国際発信



クリエイター支援基金による複数年度にわたる支援のイメージ



クリエイター等育成・文化施設高付加価値化支援事業

支援メニューの特色 ▶ 卓越した若手クリエイター支援

次代を担うクリエイター・アーティスト等を育成するとともに、その活躍・発信の場でもある文化施設の次世代型の機能強化を、独立行政法人日本芸術文化振興会に設置する基金を活用して弾力的かつ複数年度にわたって支援。

◆ クリエイター・アーティスト等育成支援事業 (採択件数29件)

区分	分野	採択件数（補助型と委託型の総計）
メディア芸術	メディア芸術	7件 ：マンガ、ゲーム、メディアアート、アニメーション、映画
現代アート	現代アート	2件 ：現代アート、写真
分野横断的新領域		4件
舞台芸術	音楽	4件 ：オーケストラ、オペラ、ポピュラーミュージック等
	舞踊	3件 ：バレエ、現代舞踊等
	演劇	5件 ：現代演劇、ミュージカル等
	伝統芸能・大衆芸能	3件 ：歌舞伎、文楽、邦楽等
	舞台芸術等	1件 ：舞台芸術等

◆ 文化施設による高付加価値化機能強化支援事業 (採択件数13件)

区分	分野	採択件数（補助型のみの採択）
博物館・美術館等	大規模	3件 ：日本美術、メディアアート、現代アート等
	中規模	1件 ：伝統工芸
	小規模	－
劇場・音楽堂等	大規模	－
	中規模	4件 ：現代音楽、野外パフォーマンス、舞台芸術等
	小規模	5件 ：演劇、ダンス、伝統芸能、メディアアート等

※事業規模別に以下の区分を設けており、各施設は複数の区分に応募可能。
大規模：3億円まで、中規模：1.5億円まで、小規模：4千万円まで

クリエイター等支援事業（育成プログラム構築・実践）

支援メニューの特色 ▶ グローバルに活躍する高度専門人材育成のプログラム・コース創設

クリエイター等の国内外での活躍を促進するため、クリエイター（漫画家、アニメーター、作曲家、脚本家等）や海外展開に長けた専門人材（編集者、プロデューサー等）に対し、企画開発・発信・交渉・IP開発・ライセンス管理・先端技術を活用した制作等に必要なスキル習得を支援する取組を実施。

◆コンテンツ分野における産学官連携による教育機関の機能強化支援 （採択件数23件）

区分	分野	採択件数（補助型と委託型の総計）
マンガ	—	3件
アニメ	—	6件（うち1件映画区分でも採択）
ゲーム	—	4件
映画	実写映画・アニメーション映画	2件（うち1件映画区分でも採択）
音楽	ポピュラーミュージック関係	2件
演劇・舞台	ライブ・エンターテインメント関係	2件
デザイン等	デザイン、ファッション、建築、分野横断的新領域	5件

◆コンテンツ創造・海外展開のための実践的な社会人育成支援 （採択件数16件）

区分	分野	採択件数（補助型と委託型の総計）
マンガ	—	3件
アニメ	—	1件
ゲーム	—	2件
映画	実写映画・アニメーション映画	5件
音楽	ポピュラーミュージック関係	2件
演劇・舞台	ライブ・エンターテインメント関係	—
デザイン等	デザイン、ファッション、建築、分野横断的新領域	3件

令和5年度補正予算 クリエイター等育成・文化施設高付加価値化支援事業
クリエイター・アーティスト等育成支援事業

各プロジェクトは、欧州公演や海外イベントへの参加、海外を拠点としたリサーチ等を実施。音楽、映画、ゲームなど多様な分野において、受賞・ノミネートや共同制作等の成果を挙げている。加えて、国内外におけるネットワーク強化やプロフェッショナルによる指導を通じ、本格的な海外展開に向けた基盤を着実に構築している。

展開する国と地域

<令和7年度実績及び令和8年度予定>

アイルランド	アメリカ	アルゼンチン	イタリア
インド	インドネシア	英国	オーストラリア
カナダ	シンガポール	スイス	スペイン
タイ	韓国	中国	ドイツ
フランス	ベトナム	ポルトガル	マルタ
マレーシア	台湾	香港	

クリエイター数 計**544**人

アドバイザー数 計**301**人

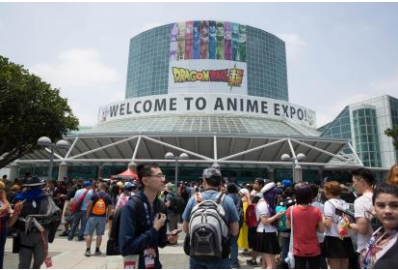
<令和8年3月末現在>

公演・展示等の数（国内）	計 163 回	} 合計
公演・展示等の数（国外）	計 165 回	
		328 回

国内外で開いた公演・展示等の延べ入場者数 計**873,761**人

<令和7年度実績>

画像左) 英国・ロイヤルオペラハウス
画像右) 米国・アニメエキスポ



令和5年度補正予算 クリエイター等育成・文化施設高付加価値化支援事業
文化施設による高付加価値化機能強化支援事業

博物館や劇場、音楽堂など各分野において国際連携が拡大。海外キュレーターの招聘や共同委嘱、国内外の第一人者による指導、育成対象者による批評発信等を通じ、人材育成の強化が図られている。さらに、新組織の設立や海外での公演・研鑽・交流等を通じ、国際展開およびネットワーク形成に向けた基盤構築が進展。

クリエイター数 計**133**人

アドバイザー数 計**88**人

＜令和8年3月末現在＞

公演・展示等の数（国内） 計**92**回
公演・展示等の数（国外） 計**5**回
合計 **97**回

国内外で開いた公演・展示等の延べ入場者数 計**1,900,597**人

※海外は他イベントの入場者を含む
＜令和7年度実績＞

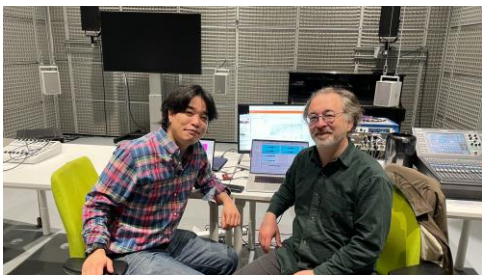
展開する国と地域

＜令和7年度実績及び令和8年度予定＞

インドネシア	スロバキア	韓国	中国
ドイツ	フランス	メキシコ	台湾



提供：東京国立博物館
特別展「染と織と国－伝統と現代」
（於・インドネシア国立博物館、
2025年）



提供：東京文化会館
IRCAM フランス国立音響音楽研
究所での創作の様子（2025年）

令和5年度補正予算

クリエイター・アーティスト等育成支援事業 | メディア芸術（映画）

Film Frontier 長編アニメクリエイター支援

委託事務局：公益財団法人ユニジャパン

第76回ベルリン国際映画祭にて、『花緑青が明ける日に』が最高賞である金熊賞を競うコンペティション部門に選出。

日本画家・四宮義俊監督の長編デビュー作にあたる本作の海外展開を採択事業にて支援。日本のアニメがベルリン映画祭コンペ部門に選出されたのは、『千と千尋の神隠し』（宮崎駿監督／金熊賞受賞）、『すずめの戸締り』（新海誠監督）に続く快挙。



令和5年度補正予算

クリエイター・アーティスト等育成支援事業 | メディア芸術（映画）

Film Frontier 長編アニメクリエイター支援

委託事務局：公益財団法人ユニジャパン

アヌシー国際アニメーション映画祭2025にて、『ハウセンカ』が長編コンペティション部門に選出。

人気TVアニメ「オッドタクシー」を手掛けたクリエイタータッグ、木下麦監督と此元和津也による原作・脚本のオリジナルアニメーション作品。本事業ではその海外展開を支援した。



◀ 客席中央で観客と交流している木下麦監督。
『ハウセンカ』は監督のほか、プロデューサーの伊藤裕史氏、
神戸麻紀氏が育成対象者。

令和5年度補正予算

クリエイター・アーティスト等育成支援事業 | メディア芸術（短編アニメーション）

New Way, New World: Program for Connecting Japanese Animators to the World

委託事務局：公益財団法人画像情報教育振興協会（CG-ARTS）

第79回カンヌ国際映画祭にて、第一期推薦枠アーティストの矢野ほなみ監督の『エリ』が、独立部門「監督週間」に選出。

本作は、朝倉かすみの小説『ほかに誰がいる』を原作とした短編アニメーション作品で、**日本のAu Praxinoscopeと、フランスのMIYU Productions**による日仏共同製作作品として制作された。



令和5年度補正予算

クリエイター・アーティスト等育成支援事業 | 舞台芸術（舞踊）

海外公演を通じた国際的なダンサー育成プロジェクト 新国立劇場運営財団

世界最高峰のダンサーでなければ立つことのできない舞台、**英国ロイヤル・オペラ・ハウスにて「ジゼル」を上演**（2025年7月24日～27日）。公演は連日ほぼ満席となり、現地観客で埋め尽くされた客席は熱気を帯び、高い注目を集めた。

第26回英国舞踊批評家協会賞（National Dance Awards）にノミネートされ、国際的な評価を獲得するとともに、**ニューヨーク・タイムズ紙をはじめとする世界の主要メディアから軒並み高評価**を獲得。



Photo by Tristram Kenton

令和5年度補正予算

クリエイター・アーティスト等育成支援事業 | 舞台芸術（伝統・大衆芸能）

歌舞伎の海外展開を目指したクリエイター育成 松竹株式会社

韓国にてパンソリとの共同レクチャーおよび公演を行い、
「女方ができるまで」欧州公演につながる足掛かりを形成。
欧州における松竹製作の歌舞伎イベントとしては、
2018年の「ジャポニスム 2018」に参加して以来となる
欧州公演を敢行した（2026年4月）。
パリ・ローマ・ケルンの3都市を巡り、計6公演を実現。

各都市で大きな注目を集めるなか、現地観客に歌舞伎の
魅力と存在感を強く印象づけ、成功をおさめた。



令和5年度補正予算

文化施設による高付加価値化機能強化支援事業 | 博物館・美術館

グローバル・アート・プロフェッショナル育成プロジェクト 森美術館

本プロジェクトの一環として「**藤本壮介の建築：原初・未来・森**」を実施。
来場者 23万6,705人（目標比160パーセント）を記録したほか、
<美術手帖>をはじめとして50件以上のメディアで高評価を獲得した。

今年度は、**アジアに巡回**予定。



撮影：田山達之/画像提供：森美術館



《思考の森》2025年/展示風景：「藤本壮介の建築：原初・未来・森」森美術館(東京)2025年/撮影：八代哲弥/画像提供：森美術館

2025年/展示風景：「藤本壮介の建築：原初・未来・森」森美術館(東京)2025年/撮影：八代哲弥/画像提供：森美術館

令和5年度補正予算

文化施設による高付加価値化機能強化支援事業 | 劇場・音楽堂

Constellation～世界をつなげる愛知県芸術劇場ダンスプロジェクト～ 愛知県芸術劇場

育成対象者・酒井はなが出演する「ジゼルのあらすじ」は、今年2月、ドイツ・ハンブルクの演劇祭・レッシングターゲ、今年5月にはオランダ・ユトレヒトで開催される国際芸術祭「スプリングフェス」に招かれて上演。

現地の批評家から、酒井はなの卓越したテクニック等に対し、複数の高評価を得た。



「ジゼルのあらすじ」 提供：愛知県芸術劇場 ©HATORI Naoshi

令和5年度補正予算

クリエイター・アーティスト等育成支援事業 | 舞台芸術（演劇）

SOIL Fellowship Program 緊急事態舞台芸術ネットワーク



日本の舞台芸術文化の海外展開を支援するスキーム構築事業。

令和7年度は、ロンドンおよびエディンバラにおいて、育成対象者による各国舞台芸術関係者向けのピッチイベントを実施。

日本の舞台芸術の多様性を強みに、国際発信と持続的なネットワーク形成に向けた実践的基盤の構築を進めた。

令和5年度補正予算

文化施設による高付加価値化機能強化支援事業 | 劇場・音楽堂

TMTギア — 東京芸術劇場クリエイター支援プロジェクト

東京芸術劇場



岡田利規、山田和樹らをメンターとした人材育成を通じ、劇場とアート・クリエイターが一体となった国際展開を目指す事業。

海外視察やOJTを通じ、アート・クリエイターに加え、映像メディアチーム、館内プロデューサー、舞台技術者等を育成。

制作された新たなクリエイション作品は、今後東京芸術劇場にて発表予定。

令和5年度補正予算

クリエイター・アーティスト等育成支援事業 | メディア芸術（アニメ）

グローバル・アニメ・チャレンジ（GAC） キネマシTRAS



若手人材に学びの機会を提供し、日本アニメ産業を牽引する人材育成を目指す事業。

プログラムの特徴として、海外展開に特化した育成プログラムを実施し、プロデューサー、監督、アニメーター等、多様な育成対象者を擁する。

令和7年度は、国内ワークショップおよび海外アニメスタジオでのインターンを実施。今後は、パイロットフィルム制作や海外アニメーション映画祭・マーケットへの派遣等を予定。

令和6年度補正予算

クリエイター等支援事業（育成プログラム構築・実践） | デザイン等（メディア芸術）

イマーシブ映像コンテンツクリエイター育成・輩出プロジェクト 「Immersive Media Lab++」 学校法人滋慶学園（東京コミュニケーションアート専門学校）



イマーシブ映像コンテンツクリエイターの育成・輩出を目的とした事業。

STYLYと共同し、3DCG・映像・建築・アートを横断する実践的カリキュラムを構築し、第一線で活躍する講師陣によるプログラムを実施。

令和7年度からは、海外教育機関・企業との連携による通年講義や海外研修の実施を予定。